

1年次		2年次				3年次				
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
発達心理学	教育原理	教職論	保育臨床相談		保育内容(音楽表現)					
保育内容(言葉)	保育内容(人間関係)	保育指導計画の方法	保育内容(健康)		保育内容(音楽表現)					
国語	保育内容(身体表現)	教育方法論	保育内容(健康)		保育内容(音楽表現)					
図画工作 I	図画工作 II	保育内容(造形表現 I)	保育内容(環境)		保育内容(造形表現 II)					
音楽 I	音楽 II	幼児の運動と遊び I	保育内容(造形表現 II)		幼児の運動と遊び II					
保育入門演習	保育技術演習	子ども基礎研究 I	子ども基礎研究 II		子ども基礎研究 II			子ども研究 I	保育・教職実践演習 I	
		教職演習	教職演習		教職演習		保育実務研修 I	保育実務研修 II	子ども研究 II	保育・教職実践演習 II
		幼稚園教育実習 I	幼稚園教育実習 II		幼稚園教育実習 II		保育実務研修 III	保育実務研修 IV	保育総合表現	
	実習指導 I a	実習指導 I a	実習指導 II		実習指導 II		実習指導 I b	保育実習 I b	子ども研究 II	保育・教職実践演習 II
	保育実習 I a	保育実習 II	子どもの発達と学び		子どもの発達と学び		実習指導 III	保育実習 III	保育実務研修 III	保育実務研修 IV
		実習指導 II	社会的養護内容		社会的養護内容		実習指導 III	保育実習 III	実習指導 III	保育実務研修 IV
保育原理		社会的養護	相談援助		相談援助		実習指導 III	保育実習 III	保育内容総論	
児童家庭福祉	社会福祉	家庭支援論	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	保育内容総論	
乳児保育 I	乳児保育 II	応用音楽 I	在宅保育		在宅保育		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
子どもの保健 I	子どもの保健 II	子どもの保健演習	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
	障がい児保育 I	障がい児保育 II	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
	児童文化	シアター	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		スポーツレクリエーション I	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		器楽 I	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		ウインドアンサンブル	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		器楽 II	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		ウインドアンサンブル	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		器楽 III	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		ウインドアンサンブル	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		器楽 IV	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		ウインドアンサンブル	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		音楽心理学	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		音楽理論	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		音楽療法 基礎	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		音楽療法 臨床	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究
		音楽療法 技法	子育て支援の基本		子育て支援の基本		実習指導 III	保育実習 III	子育て支援演習	保育の研究

C ①豊かな人間性コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
P ②子どもの健やかな成長、幸せのために、子どもをみどり援助できる能力や、子育て支援に係る能力を育成する専門教育を実施する。
 ③実習や保育実務研修、子育てサロンへの参画など実践現場での学びと、関連する大学での学びとの往還によって、保育実践で求められる実務能力や社会人基礎力など保育力が身につく教育を実践する。
 ④保育のスペシャリストとして、社会の諸問題を解決するための知識・技能や、自らの持つ能力を伸ばすことのできる専門科目を設ける。

D ①保育者の本質を理解し、保育者としての専門的知識に基づき、子どもに応じた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。
P ②子どもの健やかな成長のために、保育の本質を基盤に時代のニーズに柔軟に対応した保育実践を行うことができ、地域や保護者に適切な発信ができる。
 ③保育実践に必要な保育技術や情報収集力をもち、子どもとの連携を構築し職員と協働するとともに地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。
 ④豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資源能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していくことができる。